

「地域の川 鳴瀬川に学ぼう」

— 生活科・総合的な学習の時間の学習を通して —

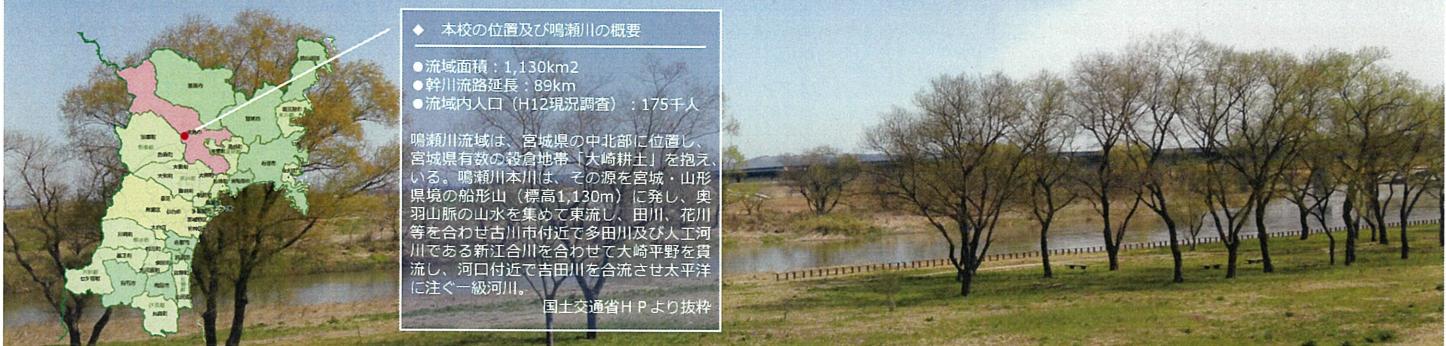
宮城県大崎市立下伊場野小学校

代表 校長 堀 章彦

担当 教諭 佐藤 聖子 大沼 孝吉

品川 由紀子

報告 教頭 佐々木 美奈子



第1・2学年生活科 第3~6学年総合的な学習の時間

平成26年 9月 野草を植えよう

堤防に生息している在来種の苗を調べたり植えたりする活動を通して、堤防の植生に興味をもつとともに、故郷の自然を守ろうとする意識を高める。



平成26年 9月 水辺の楽校 よいとこ探し

鳴瀬川の写真を撮り、作品展へ出展する活動を通して、故郷のよさを発信する意義を理解するとともに、故郷を愛する心を育てる。



平成27年 10月 水辺クリーン作戦

鳴瀬川の河川敷の清掃活動を通して、生活ゴミ等が自然体系へ与える影響を知るとともに、故郷の自然を守るために自分たちができることを考える。



平成27年 12月～ サケとサクラマスを鳴瀬川に放流しよう

サケ・マスの稚魚を育て鳴瀬川に放流する活動を通して、自然環境を守る大切さを知るとともに、鳴瀬川や故郷を愛する心を育てる。



他教科や行事での取組



ものづくりクラブの活動として、鳴瀬川河川敷に生息している、シロツメグサ等の春の草花を使って髪飾りやネックレスを創る活動を行う。



全年代合同でカヌー体験を行う。5・6年生は1・2年生を乗せてカヌーを進める。震災後はブールでの実施になっているが、平成28年度からは鳴瀬川での活動へ戻す予定である。（平成27年大雨のため中止）



ソリバード環境名誉大使としても活動されており、写真家遠藤秀一氏を迎えて、環境問題について講義をいただいた。環境問題について視野を広げるとともに、身近な自然環境を守る大切さを再認識することができた。



毎年、持久走記録会で河川敷を走る前に清掃活動を行っている。高学年になるにつれて、地域の自然を守るために役割を自覚する姿が見られる。次年度は、7月7日川の日にも実施する予定である。



鳴瀬川河川敷（水辺の楽校）や堤防を体育科の授業で活用して持久走を行う。心地よいペースで走ったり、記録向上を目指したりするなど、身近な自然を楽しみながら、生涯スポーツの基礎を培う。



雪が降ると、堤防が自然のゲレンデになるため、毎年そり遊びを楽しむことができる。自然と触れ合って遊ぶ楽しさを体得することができる。



3・4年生がふ化場から持ち帰った卵を育て、3月に全校児童が保護者、地域の方々とともに放流する。稚魚を育てることで、生命の大切さを学ぶことができる貴重な体験である。